
僕等は井蛹川にて# ~留心編~

魔狗羽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕等は井蛹川にて#~留心編~

【Zコード】

Z4964B

【作者名】

魔狗羽

【あらすじ】

何故、俊人は生きていたのか。敬子が埋めたのは一体誰だったのか。『僕等は井蛹川にて~移心編~』（ホラー小説）で起きていた真実がここに！

第一話・電話は聞かれていて（前書き）

「こんにちは、魔狗羽です。今回この小説のジャンルは『推理』としましたが、推理というよりも種明かしに近いので、あしからず。

第一話・電話は聞かれていて

そう、俺は聞いてしまっていたんだ。

ある日の夜中、喉が渴いたからリビングに行つたんだ。意識は完全でなく、まだぼーっとしていたこともあって、詳しい時間なんかははっきり覚えていない。

そしたら、リビングでは母さんが電話していた。多分話の内容からして、別居中の父さんとだろう。暫く俺はリビングに入る出でが出来ず、ドアの前で突つ立つていた。

「いや……そ……ことしなく……も……は……できる……」
母さんが小声で話しているからなのか、ドア越しだと何を喋つているかわからない。まあ、別に聞く気は無いが。

しかし、話が進むにつれ、母さんが感情的になつてきたのか、少しずつ声は聞こえやすくなつてていく。そして段々俺の顔は蒼白になつていつた。

「……私が……を殺せば……てくれるって……の……?」

「何……? 殺すつ……て?」

「俊人を犠牲にし……まで……よつていつの……?」

「は?俺が……犠牲つて?」

「…………わかった。私 が 俊 人 を 殺 す 。だか……」

「…………」

あの日は、一晩中一睡も出来なかつた。母さんの声は、とても「冗談だとは思えなかつた。」

「はい、じゃあ授業終わり。次回はもう一段階詳しくやってみるぞ

そう言って、俺や学校の友達が多く通つてゐる的浜塾の数学教師、

陌川先生は教室を後にした。

「はあーっ！疲れたあ！なあ俊、ライブモンスターZやろーぜ！もう新しいデッキ出来たんだろ？」

ライブモンスターZとは、最近この約浜塾で流行っているカードゲームのことだ。

「ああ！陸也対策で、天使族のモンスターで固めといた」

「マジかよ！？俺負け決定じゃん！」

「甘い甘い。何個がデッキは使い分けてないと」

……どんなに『殺される』の五文字が頭から離れられなくて、皆の前では明るく振る舞つてた。明るく振る舞つてなければいけないと思った。

そしてその晩。俺は決定的なことを聞いたんだ。

俺は毎晩何か母さんが喋つていかないか確かめる為に、ずっと寝ないでばれない程度に母さんを見張り続けていたのだ。そうでなくとも恐怖で寝られない。

その日はまた父さんらしき人と電話していた。

「え？明日！？そんないきなり……せめて一週間後にして…」

俺はびくつとなつた。明日？何が？「私にも心の準備が必要よ！それに埋める場所だつて……」

まさか……。

「え……もう決まつて……るの？高丸山の……中……？……わかつた。でも……ほんとにあと一週間はちょうどいい……ええ、ありがと……わかつてる、それなら新しい包丁買つといた……」

間違いない、俺のことだ。

俺は急いで自分の部屋に戻つて、ベッドに入った。

一週間後。高丸山。包丁。

三つの単語が頭から離れなかつた。そして俺はこの状況で、自分が生きることを最優先にしたんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4964b/>

僕等は井蛹川にて#～留心編～

2010年10月21日20時27分発行